

「野外調査研究」 投稿規定

1. 「研究報告」の役割・性格・位置づけ

- ・本会の調査・研究および普及活動の成果などを会員並びに社会一般に報告・公開するもので、年1冊以上刊行する。

2. 収録内容

- ・原稿の種目・内容は、活動報告・論文・研究ノート・論説・記録・随想・本の紹介等とする（注1）。
- ・原稿の長さは、原則として、活動報告(20頁以内)、論文(20頁以内)、研究ノート(20頁以内)、論説(20頁以内)、記録(20頁以内)、随想(10頁以内)、本の紹介(2頁以内)とし、それらを超える原稿の場合は編集委員会で採否を決める。

3. 投稿資格

- ・本会会員及び共同調査研究者とするが、編集委員会が原稿を依頼した場合はこの限りではない。なお、原稿の内容によっては会員以外からの投稿も受け付ける。
- ・原稿は未発表のものとするが、編集委員会が特に認めたものはこの限りではない。

4. 費用負担

- ・各原稿の種目において制限頁数を超える場合は、1頁あたり千円(2千円)を著者が負担する(()内は非会員の場合)。ただし活動報告および依頼原稿の場合はこの限りではない。会員と非会員の連名の場合は、会員扱いとする。

5. 原稿の提出方法

- ・電子投稿を原則とし、電子メール(容量が大きくメールでの添付・送信が困難な場合は大容量転送サービスを利用:注2)、CDもしくはDVDの郵送による。いずれの場合も打ち出し原稿1部を送付もしくは同封する。やむを得ず電子投稿ができない場合は、編集委員会が認めたものは手書き原稿等の郵送も可とする。

・原稿の送付先

<電子メール送信先> takky@ps.ksky.ne.jp

<郵送先> 〒369-1202 埼玉県大里郡寄居町桜沢 2544-2 本間岳史

6. 査読

- ・受け付けた原稿は、編集委員等により査読を行う。査読の結果、原稿の修正等を求めることがある。

7. 原稿執筆要領

- (1) **書式**：電子媒体の場合は、Word、Excel、PowerPoint等を用い、A4判(縦)、横書き1段、文字サイズ10.5ポ、40字×40行で入力する。数字は半角とする。
- (2) **写真・図表**：写真・図表は、位置・大きさなどを著者が打ち出し原稿もしくは手書き原

稿内に指示する。地図等には、方位・縮尺を入れる。

(3) **引用文献および参考文献**：引用文献および参考文献は、本文末にまとめて、著者名の ABC 順、同一著者のものは公表年順、同年のものは a、b を付けて並べる。著者・出版年、書名・出版社(論文の場合は論文名・雑誌名・巻号・掲載頁)を記載する。本文中に引用した文献は引用文献としてすべて記すこと。参考文献は必ずしも記載しなくても良い。

(4) **年号**：西暦(和暦)を原則とし、必要な場合は和暦のみでも可とする。

8. この規定は 2016 (平成 28) 年度より適用する。

(注 1) 原稿の種目・内容について

活動報告：本会が主催して実施した事業(調査・研究活動や、講座・講演会・展示会・現地見学会等の普及活動など)や、会員が参加したイベントなどの報告

論文：会員や共同研究者などが行った調査・研究の成果で、事実の記載と考察が書かれており、他の雑誌などで公表されていないオリジナルなもの

研究ノート：研究方法や技術などに関する提案や、研究の過程で生まれたアイデアの提案

論説：自然や文化について自説を論じたり解説したりしたもの

記録：温度・雨量などの日常的な観察記録、調査記録、試料の分析値、あるテーマに関する文献リストなど

随想：体験・見聞したことや日頃思うことなどを、自由な形式で書き記したもの

本の紹介：新刊もしくは新刊予定の本や雑誌、過去に刊行された本や雑誌を紹介したり、書評を述べたりしたもの

(注 2) 大容量転送サービスについて

大容量転送サービスは、メールの添付では扱いにくい大容量のファイルを簡単に送信できる無料のサービス。

送信者は適宜サービス提供会社を選んで Web 上から送信先のメールアドレスを入力し、送りたいファイルをアップロードする。一方受信者は、サービス提供会社経由で送られてきたメールに記されている URL から受取専用頁を開き、そこからファイルをダウンロードする仕組み。

多数の会社が無料転送サービスを行っており、サービス提供会社により異なるが、アップ期間は 3 日～2 週間(受信者はその期間内にダウンロードできる)、最大送信可能容量は 300MB～75GB 程度。